



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4606		
科目名	ゼミナールⅡ		
担当教員	近藤 克之		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 4		
講義室	1403	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3 - G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4 - F〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4 - I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5 - J〔創造的挑戦力・達成力〕 コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP8 - M〔省察力〕 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 G1 状況把握 — 30% F1 探究と論拠 — 10% F2 課題解決 — 10% I1 理解・分析と読解 — 8% I2 量的分析 — 6% I3 情報分析 — 6% J1 継続的学修基盤 — 7.5% J2 創造的思考 — 7.5% M1 統合的・応用的学修 — 15%		
教員の実務経験	2010年から日本パラ陸上競技連盟強化委員として、障がいのある選手に対するサポート事業に携わってきました。また、日本スポーツ振興センターや東京都障がい者スポーツ協会主催の発掘事業、関東地区のパラ陸上競技の普及振興にも協力してきました。障がいのある選手のみならず、多くの人がスポーツを行うためには、身近に活用できる施設・環境が整備されていることの重要性とそれらの人々を支援する人的資源の確保が重要であることも認識してきました。これらの経験を踏まえ、学生が実社会で役立てられるような考えを養えるよう本科目を展開していきます（第1回から第15回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	ゼミナールⅠで学修した考えを基に個別研究課題を設定し、研究の一連の手順に則った形で調査や実験を行い、最終的には研究発表会にて発表します。研究発表会に向けて、研究のプレ		

	ゼンテーション方法について実践を通して学んでいきます。また、卒業論文として各自が取り上げたい課題を選択していく準備を行い、論文の書き方についても理解を深めていきます。授業形態は、演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：アダプテッド・スポーツ、社会学的調査、質的研究、スポーツマネジメント、地域スポーツ、スポーツプロモーション、スポーツ政策						
授業の趣旨	■副題 個々の研究計画を作成し、実施するまでの過程について、アダプテッド・スポーツやスポーツマネジメントの考えを中心に置きながら、自身の興味のある分野、領域の研究方法を学習します。 ■授業の目的 本授業の目的は、自身の研究計画を立案し実施することから得られた研究結果に関する議論の内容を踏まえ、それらを発表することができるようになることです。 ■授業のポイント 自身の興味のある内容を対象に研究課題を見出す作業は、地道な作業となります。これまでに行われた先行研究を精査し、自身の考えと類似した研究を見出し、その中で採用されている研究についての考え方や方法論、結果の考察を参照することが重要です。ゼミナールⅠでは、グループでの検討が中心でありましたが、ゼミナールⅡでは、個々の研究課題を見出し、取り組んでいくこととなりますので、より主体性を持った授業参加が求められます。						
総合到達目標	■自身の興味関心に応じて適切に研究を行うために、先行研究を精読し、基礎的な研究方法を修得する。 ・自身の興味のある分野、領域の研究の進め方について選択すべき方法などを列挙できる。 【知識】（第1回から15回） ・他者との議論を重ね、自身およびグループの研究テーマを討論できる。【態度】（第1回から第15回） ・PCや図書館を利用して先行研究を調べることができる【技能】（第1回から第15回） ・自身の興味のある分野や領域の研究において、研究計画を立案・実行・結果分析・省察の過程を説明できる。【知識】（第1回から第15回） ・自身が行った研究成果を他者に分かりやすく伝達するために具体的な発表を行うことができる。【技能】（第7回及び第14回）						
成績評価方法	■研究計画書1回（25%）：適用ルーブリック G1・F1・F2 （評価の観点）研究計画書に、題目（仮）、目的、分析方法等が適切に記入されているか確認します。また、研究を進めるにあたり様々な配慮ができていないか、研究の限界を把握できているかも確認します。 （フィードバックの方法）研究計画の検討回に個々の状況に応じて対応します。 ■研究の実践活動8回（25%）：適用ルーブリック G1・F1・F2 （評価の観点）研究計画書に書かれた内容に沿って、実施し得られた結果を飛躍することなく捉えることができているか確認します。 （フィードバックの方法）個々の研究結果に応じて対応します。 ■研究発表会1回（50%）：適用ルーブリック I1・I2・I3・J1・J2・M1 （評価の観点）実施してきた研究の全体を適切にまとめ、研究発表会にて発表し、質問者に対して応答することができているか確認します。また、指摘されたことを持ち帰り、自身の研究に活かすことを検討しているか確認します。 （フィードバックの方法）まとめの回にて、授業全体で共有し、学生同士で意見を出し合うと同時に、教員から個々の研究発表に応じて情報を還元します。						
履修条件	「ゼミナールⅠ SCS 4605」（3年次前期配当）を履修していることが条件です。また、本科目は選択必修科目です。						
履修上の注意点	計画的な研究活動を行い卒業論文に繋げていきましょう。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 担当者の実務経験を踏まえ、ゼミナールⅡで学習する事項を確認し、授業の概要や評価の観点を説明できるようになる（G1）。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認する。不明点があれば質問できるよう準備を行う。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容を整理し、個人研究の展望を見据える。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 個人研究計画の検討① </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 担当者の実務経験を踏まえ、ゼミナールⅡで学習する事項を確認し、授業の概要や評価の観点を説明できるようになる（G1）。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認する。不明点があれば質問できるよう準備を行う。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容を整理し、個人研究の展望を見据える。	2	①授業テーマ 個人研究計画の検討①
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 担当者の実務経験を踏まえ、ゼミナールⅡで学習する事項を確認し、授業の概要や評価の観点を説明できるようになる（G1）。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業の流れについて確認する。不明点があれば質問できるよう準備を行う。 ④復習（120分） ガイダンスによって説明された内容を整理し、個人研究の展望を見据える。						
2	①授業テーマ 個人研究計画の検討①						

	②授業概要 担当者の実務経験を踏まえ、自身の研究計画を設定するために、先行研究に関する文献を精読し、明らかにされていることや研究方法について討論できるようになる（G 1、F1、I1、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） ゼミナールⅠの授業を基に、個人研究計画書を作成する。 ④復習（120分） 個人研究計画を実施するために必要な準備事項を確認する。個人研究をさらに洗練させるために必要な文献の整理を行う。
3	①授業テーマ 個人研究計画の検討② ②授業概要 担当者の実務経験を踏まえ、自身の研究計画を設定するために、先行研究に関する文献を精読し、明らかにされていることや研究方法について討論できるようになる（G 1、F1、I1、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 個人研究計画書を見直し、研究をさらに洗練させるために必要な文献を検索し、内容を整理する。 ④復習（120分） 研究計画を実行に移していくために必要な準備事項を確認する。
4	①授業テーマ 研究の実践① ②授業概要 担当者の実務経験を活かし、自身の研究計画書に基づき、実験や調査を行えるようになる（F1、F2）。 ③予習（120分） 研究計画書を見返し、実験や調査等に必要な準備を行う。 ④復習（120分） 実験や調査等で得られた結果を正確に整理すると同時に、問題点や検討事項を整理する。
5	①授業テーマ 研究の実践② ②授業概要 担当者の実務経験を活かし、自身の研究計画書に基づき、実験や調査を行えるようになる（F1、F2）。 ③予習（120分） 研究計画書を見返し、実験や調査等に必要な準備を行う。 ④復習（120分） 実験や調査等で得られた結果を正確に整理すると同時に、問題点や検討事項を整理する。
6	①授業テーマ 研究の実践③ ②授業概要 担当者の実務経験を活かし、自身の研究計画書に基づき、実験や調査を行えるようになる（F1、F2）。 ③予習（120分） 研究計画書を見返し、実験や調査等に必要な準備を行う。 ④復習（120分） 実験や調査等で得られた結果を正確に整理すると同時に、問題点や検討事項を整理する。
7	①授業テーマ 研究の実践④ ②授業概要 担当者の実務経験を活かし、自身の研究計画書に基づき、実験や調査を行えるようになる（F1、F2）。 ③予習（120分） 研究計画書を見返し、実験や調査等に必要な準備を行う。 ④復習（120分） 実験や調査等で得られた結果を正確に整理すると同時に、問題点や検討事項を整理する。
8	①授業テーマ 実践された研究結果の整理及び発表準備①

	②授業概要 担当者の実務経験を踏まえ、個人研究計画に沿って行われた研究の結果を整理し、必要に応じてディスカッションしながら考察を深め、発表の準備を行えるようになる（I 1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 研究をさらに洗練させるために必要な文献を検索し、内容を整理する。また、個人研究計画書に記載している分析方法を用いて分析を行えるようパソコンや分析ソフトの使用方法を確認する。 ④復習（120分） 実験や調査等で得られた結果が正確に整理されているか確認する。分析方法に間違いがないか、結果の考察に論理的な飛躍がないか確認する。
9	①授業テーマ 実践された研究結果の整理及び発表準備② ②授業概要 担当者の実務経験を踏まえ、個人研究計画に沿って行われた研究の結果を整理し、必要に応じてディスカッションしながら考察を深め、発表の準備を行えるようになる（I 1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 研究をさらに洗練させるために必要な文献を検索し、内容を整理する。また、個人研究計画書に記載している分析方法を用いて分析を行えるようパソコンや分析ソフトの使用方法を確認する。 ④復習（120分） 実験や調査等で得られた結果が正確に整理されているか確認する。分析方法に間違いがないか、結果の考察に論理的な飛躍がないか確認する。
10	①授業テーマ 実践された研究結果の整理及び発表準備③ ②授業概要 担当者の実務経験を踏まえ、個人研究計画に沿って行われた研究の結果を整理し、必要に応じてディスカッションしながら考察を深め、発表の準備を行えるようになる（I 1、I2、I3、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 研究をさらに洗練させるために必要な文献を検索し、内容を整理する。また、個人研究計画書に記載している分析方法を用いて分析を行えるようパソコンや分析ソフトの使用方法を確認する。 ④復習（120分） 実験や調査等で得られた結果が正確に整理されているか確認する。分析方法に間違いがないか、結果の考察に論理的な飛躍がないか確認する。
11	①授業テーマ 実践された研究結果の整理及び発表準備④ ②授業概要 担当者の実務経験を踏まえ、個人研究計画に沿って行われた研究の結果を整理し、必要に応じてディスカッションしながら考察を深め、発表の準備を行えるようになる（I 1、I2、I3、J1、J2、M1）。発表資料は、Microsoft PowerPointを用いて作成できるようにする（F1、F2、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 研究をさらに洗練させるために必要な文献を検索し、内容を整理する。また、個人研究計画書に記載している分析方法を用いて分析を行えるようパソコンや分析ソフトの使用方法を確認する。 ④復習（120分） 実験や調査等で得られた結果が正確に整理されているか確認する。分析方法に間違いがないか、結果の考察に論理的な飛躍がないか確認する。
12	①授業テーマ 研究成果の発表① ②授業概要 担当者の実務経験を活かし、自身の研究成果について発表を行えるようになる（J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 実際の発表を想定し、所定の時間でプレゼンテーションを行えるよう、繰り返し発表の練習を行う。 ④復習（120分） 発表を振り返り質疑応答の内容を踏まえ、必要な修正や卒業論文に向けた課題の抽出を行う。

	13 ①授業テーマ 研究成果の発表② ②授業概要 担当者の実務経験を活かし、自身の研究成果について発表を行えるようになる（J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 実際の発表を想定し、所定の時間でプレゼンテーションを行えるよう、繰り返し発表の練習を行う。 ④復習（120分） 発表を振り返り質疑応答の内容を踏まえ、必要な修正や卒業論文に向けた課題の抽出を行う。
	14 ①授業テーマ 研究成果の発表③ ②授業概要 担当者の実務経験を活かし、自身の研究成果について発表を行えるようになる（J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 実際の発表を想定し、所定の時間でプレゼンテーションを行えるよう、繰り返し発表の練習を行う。 ④復習（120分） 発表を振り返り質疑応答の内容を踏まえ、必要な修正や卒業論文に向けた課題の抽出を行う。
	15 ①授業テーマ ゼミナールⅡのまとめ ②授業概要 担当者の実務経験を踏まえ、ゼミナールⅡで行われた授業内容を振り返り、卒業論文に向けて必要な情報を説明できるようになる（G1、F1、F2、J1、J2、M1）。 ③予習（120分） 自身がゼミナール開始から収集、精読してきた文献に関する情報を整理する。 ④復習（120分） 卒業論文に向けて研究をさらに洗練させるために必要な文献の整理を行う。
関連科目	「ゼミナールⅠ SCS 4605」（3年次前期配当）、「卒業論文 SCS 4607」（4年次配当）
教科書	適宜、資料を配布します（ポータルサイトにおいても配布します）。
参考書・参考URL	開講時に紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜日の4時限目と水曜日の5時限目に設定しています。指定時間以外でも対応しますので、その際には予め、アポイントメントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	

